

## ■郊外型大型小売店の出店問題

能代東インターチェンジ周辺への郊外型大型小売店の出店問題についてですが、4月25日、出店担当者が来庁し、出店を進めたいので市の理解を得たいとの意向が示されました。本市での郊外型大型小売店の出店は、市街地の拡大につながり、新たな社会資本整備や行政需要を生じさせ既存の商店街に大きな影響を与えることになり、さらには、市全体のまちづくりや中心市街地の活性化などの観点から、これ以上の郊外型大型小売店の出店は遠慮いただきたい、との市の考えを伝えていきます。

限りある財源の中で効率的なまちづくりを進めるためには、すでに整備されている都市整備基盤を最大限に有効活用したコンパクトなまちづくりが必要であり、今後も出店には反対してまいります。

## ■企業進出

企業進出については、光通信部品の主要部材を製造する「株式会社グラノプト」が能代工業団地に進出することとなり、現在、操業開始に向け工事が進められています。また、昨年進出を発表した秋田エコープラッシュ株式会社、安全祈願祭が5月17日に行われたほか、杏林製薬株式会社能代工場の新製剤棟建築工事も来年4月の操業開始に向けて順調に進んでいます。

## ■モデルロケット等交流事業

日本近代ロケット打ち上げ50周年を機に、日本モデルロケット協会や大学、宇宙関連団体などの方々と構成する能代宇宙イベント協議会が結成され、本年8月10日、浅内鉦さい堆積場跡地を会場にモデルロケット等の打ち上げ大会が開催されます。

本市は独立行政法人・宇宙航空研究開発機構の能代多目的実験場や銀河連邦事業など、宇宙との関わりも深く、これまで、多目的実験場の見学会、宇宙科学体験教室や銀河連邦共和国間の子ども留学などを行っています。

この事業を通じ、能代のPRや新たな交流の広がりが期待されるとともに、子どもたちにとっても宇宙への夢を育む、よい機会になるものと考えており、市としても支援してまいります。

## ■国民健康保険事業

国民健康保険事業については、17年度においても医療費は加入者の増などにより、依然増加が見込まれています。

一方、国民健康保険税は、農業所得の著しい落ち込みなどにより減収が見込まれ、予備費の必要額を計上できないなど国保会計は厳しい状況にあります。このままでは健全な国保事業の運営が困難な状況となっており、ことから、本定例会に国民健康保険税率改正のための条例案を提出しています。

## ■小友沼及び周辺環境保全整備構想素案

小友沼のかんがい機能の維持を基本としながら、優れた自然を次世代に引き継ぐための今後の保全と整備の概略的な方向を示し、将来的にはラムサール条約湿地を目指すという内容になっています。



小友沼

5月24日には構想素案に関する住民説明会を開催するなどして広く市民の方々からも意見を募集しています。今後、皆様からいただいた意見を踏まえ、8月をめどに構想を策定することとしています。

## ■相次いで能代港に寄港

5月6日に「ばしふいっくびいなす」、6月7日には「にっぽん丸」が相次いで能代港に寄港しました。

市では、歓迎セレモニーや観光案内所の設置、物産販売を行いました。6月14日には帆船「あこがれ」が入港し、小学生や市民の体験航海を行い、こうした機会に、多くの方々から港に親しんでいただきたいと考えています。



にっぽん丸の歓迎セレモニー